

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第6号

令和6年10月2日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

今回は、本校の今年度の探究のテーマをいくつか紹介します。生徒一人ひとりがテーマを設定しているので、テーマは生徒の人数分だけあり、各自で探究活動を行っています。

テーマ

「きのこを利用したプラスチックを分解するゴミ箱を作るには」

「水素自動車(燃料電池車)普及の実行可能性と課題」

「心理学を利用することで円満な結婚生活を送ることはできるのか」

「ポジティブ思考が人生に及ぼす効果」

「人を応援することでなぜ自分も満たされた気持ちになるのか」

「どうすれば食品ロス、フードロスはなくなるのか」

「日本経済を回復させるには」

「さぼり癖のある人が継続力をつけるには」

「渋滞による経済損失と対策」

「アレルギー疾患の人たちが生きやすい世の中にするには」

「ストリートカルチャーに批判的な国でメダリストが育つ理由」

「日本における多文化共生社会の実現に向けて」

「日本における無人飲食店の将来」

「人々が求める文房具の条件」

「苦手な食べ物を美味しく食べるには」

「地域コミュニティの活性化で支える少子高齢化社会」

「これからの社会で学歴以外の求められる力」

「マッサージの種類の中で、どれが一番未来に残り続ける可能性が高いか」

「看護師として、人に寄り添うとはどういうことか」

いかがですか？テーマを見て、何か感じませんか？5系列ある本校らしく、テーマが多岐に及んでいると思いませんか。これが総合学科の特色の一つなのです。

学んでみたいということを中心に置き、夢や志の違う生徒が一つの学校でいっしょに生活を送り、刺激し合いながら育っていく、これが総合学科ならではの育ちなのです。大学進学する者・専門学校に行く者・就職する者、お互いを認め合いながら学校生活を送っています。大学進学も偏差値などを物差しにしていません。「何をやりたいか→それを実現させるために」という考え方で選んでいます。アドミッションポリシーを読み、オープンキャンパスに行き、自分の肌で感じたものを大切に、自らの判断で人生を歩んでいます。18歳成人になるのに、ふさわしい学校だと思いませんか。「学力」は試験で点数が取れる力ではありません。学んでいく・学び続けることができる力です。つばさ総合高校は、この力をつけるために努力しています。

普通科とは違う育ちをしてみたいと考えている中学生の皆さん、是非、授業公開・学校説明会に来て、本校を肌で感じてみてください。

百聞は一見に如かず (Seeing is believing.)

一歩踏み出す勇気が出ない人のために、

最初の一步を踏み出すこと。結果は後からついて来る。

もちろん希望通りの結果とは限らない。

でも、踏み出さない人に、結果は決してやって来ない。(唯川 恵)